

松代	柳貞輔	樋口熊一	桐山	小山菊次郎	同
小荒戸	富澤和吉	山賀市三郎	小山	正近	同
太平	柳賢司	柳善吉	若井	清八	若井忠藏
菅刈	西片一郎	柳辰巳	山岸	廣初	同
田沢	市川博吉	市川亮平	東海	犬伏平	同
小屋丸	市川光策	同	老山村	爲次	同
池の畑	市川軍平	孟	柳才次郎	山本平吉	同
下山	宮沢清	同	山本達雄	若月庚平	同
年下	柳幡威	片桐山	山岸義輝	柳嘉藏	同
小野鶴	宮倉二	佐藤勇平	佐藤常雄	柳嘉藏	同
秋山	室岡寅藏	中子	齋木誠一郎	齋木誠一郎	同
一策	室岡寅藏	平作	齋木誠一郎	齋木誠一郎	同
片桐	茂作	作平	柳晴次	柳晴次	同
荒瀬	茅島	荒瀬	柳新一郎	柳新一郎	同
柳	菅井吉郎	斎木哲司	斎木哲司	斎木哲司	同

昭和二十五回度名字囁託員決定

# 本村初の成年式!!

**總額**  
**八百八十八万八千圓**

本年度村豫算決算



新嘉慶東西城都邑代村大字松代  
203號地八  
松代公民館  
館長佐藤秀雄  
副館長印刷所  
松代印刷所  
新嘉慶東西城都邑代村大字松代 20276  
號地八

松舎は五間口二十間の二階建、奥地に在  
事務所に併行増築より成るもの  
右に依つて村民各位の絶大の御協力を期待  
致します

向学むこうがく 燃ゆる学徒がくとよ來れ！

## 松代高校新築議決す

(四) 記念品贈呈 (六) 成年者体験発表  
(五) 來賓者祝辭 (八) 成年者答辭  
(九) 万歳三唱 (十) 閉式の辞 散会  
成年者体験発表はその範囲を限定しないが  
ら各字成年(男女共)者は奮つて発表下さい





## 松代公民館新聞

# 農業講座 若月佐治郎 大豆の栽培

需用に対する国内生産量の不足と食生活の改善の面から大豆の栽培は極めて将来性があると云われておりますが、大豆は人体の栄養給源として重要であるばかりでなく粗放栽培に耐へても地方維持作物として当地では畠作物中重要な作物の一種である。次に之が栽培に当り考慮すべき点を挙げれば

## 一、適地

大豆は生育中概して温暖で晝と夜の気温の差が大きく適当な湿氣があり日照の多い気候を好み酸性土壤を嫌い一般に磷酸、石灰、カリに富んだ壤土が適している。

## 二、品種

品種が入混っていると草型や生育が不適になり作業にも不便が多いので純正な單一の品種を作ることが大切である。

尚品種に紫色の斑点があるのは紫斑病と云ふ病氣にかかるものであるから種子として用いてはいけない。品種數も全國的には大變多く生育日數も八〇日ぐらいいから二〇〇日ぐらいいに及ぶものもあるが大豆を増收するには先づ第一にその土地に適したものを選ぶことが何より大切だから從來作られている品種中でも増生種Ⅱ大豆新二号、刈羽瀧谷、中生種Ⅱ大豆新四号、赤菜

が普通と云いよう。  
五、蒔方と覆土  
大豆を蒔く場合畑を耕起しないで蒔るが株間六寸七寸の二点播

右の中新二号は畦畔や脇沃の畠地に早播するに適し、刈羽瀧谷は瘠地や妻の間作に適す。

新一号は畦畔や肥沃畠に適すが奥羽一三号は畦畔や山間地帯の稍々瘠地に適している。専最近新しく出た晚生の新四号は大粒種で草丈高く枝も多く着莢数の多い多収性の品種で適応性が極めて高いので畦畔、畠地は勿論晚播にも適する。

## 三、播種期

大豆の発芽温度は攝氏一〇度以上であるから餘り早すぎると温度不足のため発芽に長い日数がかかり結果はよくない。

また大豆は霜に弱い作物だから晚霜の心配があるうちは蒔けない。しかし反対に蒔時間が余りおくれても結果はよくないから土壤温度が攝氏一〇度以上になつて霜害の心配がない。品種數も全国的には大變多く生育日數も八〇日ぐらいいから二〇〇日が晚生種は少しおくれた方がよい

## 四、播種量

種子の収量が余り少いと一本多くなるが通常は全体の収量が少くない。品種數も全国的には大變多く生育日數も八〇日ぐらいいから二〇〇日が晚生種は少しおくれた方がよい

が普通と云いよう。

大豆を蒔く場合畑を耕起しないで蒔るが畦巾一尺八寸内外、株間六寸七寸の二点播

六、根瘤菌の働き

盛んに生育している大豆を引ぬいて見ると根に小さな粒々がたくさんついている。これが根瘤菌で根瘤菌といふ細菌が大豆の根に寄生してできる病である。

根瘤菌は大豆の根に寄生した当初は自分が繁殖するために大豆から養分をとるので大豆の生育を多少おさえるがその後は大豆の生育に必要な窒素分を與へるのでなかつて大きな効果をする。従つて大豆を作る場合窒素肥料は根瘤菌が窒素分を大豆に供給するようになる迄の間大豆が必要とするだけ與へればよきことにならざるが、

## 七、肥料のやり方

大豆には根瘤菌が窒素分を供給するには根瘤菌が窒素分を供給する。この根瘤菌は酸性土壤を嫌うから土壤が酸性の場合には石灰をまいて之を改良することが大切であり又根りうの通気をよくするのが大切である。

土壤が酸性の細菌であるからその繁殖を盛にするには中耕を行い土壤の通気をよくするのに役立つ。

も第一回の中耕をよくやれば雑草の蔓延をおさえのに役立つ。

穴をつくり種子を蒔いてから表面の土だけ削つて草を除ける方法もあるが一般によく耕起して整地することが望ましい。

これは発芽は勿論その後の生育もよく雑草の生え方が少くなるからである。覆土の厚さは土の輕重、乾燥の度合、種子の大少等によつて違ふが一般に浅い方が発芽を害されること少い。砂土では三、四寸かけでも

それ迄のつなぎとして少量の繊維

肥料(硫安二目程度)を與へると

よい殊に早生品種の場合にはその効果著しい。尚磷酸が不足すると葉が

濃緑色になり生育が悪く熟期が遅れる。

新二号も適応性は高いが倒伏しやすく稍々瘠地に適する。

赤英は畦畔や山間地帯の稍々瘠地に適している。

専最近新しく出た晚生の新四号は大粒種で草丈高く枝も多く着莢数の多い多収性の品種で適応性が極めて高いので畦畔、畠地は勿論晚播にも適する。

赤英は畦畔や山間地帯の稍々瘠地に適している。